入れ歯と医療

先週から入れ歯の新しくつくるかどうかが問題になった　上と下両方ピンクの柔らかい物を口の中へ入れ　少しかたまると取ります　それをもう一度することになっている

いれ歯とはいえ　自分の肉体と同じ

つくりかえようと決心するのに　何ヶ月もかかった　口の中もやせて来て　入れ歯もあわなくなって来ている

友人にそんな話をしたら　すかさず「保険で

やるといいわよ」　その友人は「天が入れ歯をもうくった時　二十万円だったの　保険で

するでしょ」　といわれた

医療をうけるのに　当然保険を思っていたので　何を言っているのかと思った

保険がきき　安いから　彼女の

言うことは　少しおかしいと思った

ということが私の言うことがおかしかったようだ

保険外の医療がある事を

ふりかえると　実は私はそれを知っていたの

六ヶ月たった時、そのクリニックをたずねた。「ルース」のカーテンが「ヤマゴシ」の三人くらい同じゆれている。「フワ〜」の「イス」に乗る。9人がモソモソ話をしている。場ちがりの所に来たのかと思った。三十代のころはじめて来たのは男がいっぱいだった。無味無臭の薬をもらい。たちまちなおってしまった。現在は「ナンパ」の人が多いらしい。製薬会社の薬を使用しない。と強強に守れをいときいている。ここは自由診療のクリニック。

だ。窓口の支払は不年金だ。このクリニックのS先生は十四年に亡くなってしまった。が保険外診療は現在するのだ。

2019 12/16